

令和 7 年 6 月 1 1 日

**学び続ける教師コミュニティ
2025 夏 教育実践福島ラウンドテーブル
～ NITS・福島大学大学院コラボ研修 ～**

福島大学大学院教職実践研究科（教職大学院）では、新しい教員研修の形を目指した、学び続ける教師を支えるコミュニティを形成すべく、教育実践福島ラウンドテーブルを継続して開催しています。

第 19 回目を迎える今回も、来場型（福島大学共通講義棟）とオンライン型（Zoom）のいずれかをお選びいただけるハイフレックス形式で実施いたします。

午前の部「基調講演」では、三原聡子氏（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 主任心理療法士）をお迎えし、『ネット・ゲーム依存の実態と予防』をテーマにお話しいただきます。

近年、低年齢化・多様化するネット・ゲームへの依存について、依存のメカニズムや先行研究から明らかになっているリスクファクターなどを踏まえ、今後も形を変えながら子供たちに影響を与え続けるであろうネット・ゲームの過剰使用について、我々大人が取るべき対応策を共に考えていきます。

午後の部「ラウンドテーブル」では、校種や職種などの垣根を越えた少人数のグループでの交流を行います。参加者が日常の実践で得た成果や抱える問題等について意見を交換し、多様な視点から問題解決のヒントを得て、新たな気づきや関心を高めることで、未来を拓く“生きる力”を育む創造的な教育実践の展開へとつなげます。

福島県内外から多くの教職員、教育関係者、研究者、医療・福祉関係者、学生、保護者・市民の方々にご参加いただき、教育に関するお互いの学びを深めていきます。

- ◆ 日 時：2025(令和 7)年 8 月 8 日（金）10：00～16：00
- ◆ 方 法：ハイフレックス開催（福島大学共通講義棟 + Zoom）
- ◆ 主 催：福島大学大学院教職実践研究科
- ◆ 共 催：福島県教育委員会
- ◆ 後 援：福島県市町村教育委員会連絡協議会 ほか

イベントの詳細につきましては、別紙チラシをご参照ください。

【お問い合わせ先】

福島大学人間発達文化学類支援室

電 話：024-548-8103 FAX：024-548-3181

メール：ningen@adb.fukushima-u.ac.jp

「NITS・福島大学大学院コラボ研修」
学び続ける教師コミュニティ

2025 夏 教育実践福島 ラウンドテーブル

日時

2025 年 8 月 8 日（金）
10:00 ～ 16:00 開場 9:30

参加無料
要 事前申込

7/18（金）
まで

会場

来場型 福島大学 共通講義棟
オンライン型 Zoom

ハイフレックス型で開催
来場・オンラインどちらでも OK！

プログラム

午前の部 10:00 ～ 12:00

基調講演

「ネット・ゲーム依存の実態と予防」

講師 三原 聡子 先生
（独）国立病院機構 久里浜医療センター
主任心理療法士

午後の部 13:10 ～ 16:00

学びのコミュニティ ラウンドテーブル

日々の教育活動や教育に関して感じていることや課題、悩み等について
少人数のグループで自由に語り合います。

報告者も大募集！



お申し込みは
こちらから

Plant をご覧の方も申込は
こちらからお願いします

主催 福島大学大学院 教職実践研究科

共催 福島県教育委員会

後援 福島県市町村教育委員会連絡協議会 福島県都市教育長協議会 福島県町村教育長協議会
福島県小学校長会 福島県中学校長会 福島県高等学校長協会 福島県特別支援学校長会
福島県国公立幼稚園・こども園協議会 公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会
福島県私立中学高等学校協会 福島県公立学校退職校長会 福島県PTA連合会
福島大学人間発達文化学類同窓会 福島大学人間発達文化学類後援会

【教職員支援機構とは】

独立行政法人教職員支援機構は、教職員に対する総合的支援を行う全国拠点として、国の教育政策上必要とする研修の効果的な実施や調査研究等を通じ、教職員の資質・能力の向上に寄与する組織です。
英語表記である「National Institute for School Teachers and Staff Development」から「N. I. T. S」の頭文字を取って、「NITS（ニッツ）」を略称としています。

午前の部

基調講演 講師紹介



みはら さとこ
三原 聡子 先生

独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター 主任心理療法師

日本公認心理師協会アディクション臨床委員会委員長 日本アルコール・アディクション医学会評議員
関東甲信越アルコール関連問題学会理事。

【略歴】

法政大学卒業後、埼玉県内精神科病院を経て、2009 年より独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター勤務。臨床心理士、精神保健福祉士、公認心理師。筑波大学大学院博士後期課程修了。生涯発達科学博士。2011 年ネット依存専門治療外来開設時よりネット依存の治療・研究に携わる。国内外の学会においてネット依存に関する発表を多数行う。文部科学省委託事業「情報化の進展に伴う新たな課題に対応した指導の充実に係る調査研究」調査研究委員。同省委託事業「青少年教育施設を活用したネット依存対策研究事業」事業企画運営委員。インターネット使用障害に関する WHO 東京会議(2014 年)事務局委員。WHO ソウル会議(2015 年)および WHO 香港会議(2016 年)、WHO トルコ会議(2017 年)、WHO 中国会議(2018 年)、WHO アスマン会議(2019 年)参加者。

【主な著書】

「マンガケーススタディゲーム依存」(三原聡子著 2023 年 法研)

「臨床心理学増刊第 8 号ーやさしいみんなのアディクション」(松本俊彦編 2016 年 金剛出版 分担執筆) ほか

【講演概要】

近年、ネット・ゲームへの依存は低年齢化、多様化しています。当院でも以前はゲームに依存している中高生のケースがほとんどでしたが、最近は小学校低学年のお子さんが受診されたり、配信を見続けていたり、チャットルームで様々な人と話し続けていたり、その依存の対象も変化してきています。

当日は、依存のメカニズムや先行研究から明らかになっている依存のリスクファクターなどをお伝えしたいと思います。それらを踏まえ、今後も形を変えながら、子供たちに影響を与え続けるであろうネット・ゲームの過剰使用について、我々大人は何ができるのか、考えたいと思います。

午後の部

学びのコミュニティ ラウンドテーブル

普段は異なる分野で日常を過ごしている方々と、
同じ学びの探究者として語る場です。

- 色々な立場の方と少人数でテーブルを囲みます
- テーブルのメンバーは同じ立場で参加します
- 各テーブルにはファシリテーターがつきます
- 1つの話題についてじっくりと語って聞きます

教育に関する
フリートークの時間も
(40分程度)



報告者大募集!

あなたも **ラウンドテーブル** で語ってみませんか!

リピーターのあなたはぜひ!

もちろんはじめてのあなたも!!

- 先生のあなた 普段取り組んでいることや悩み、疑問など、何でもOK!
- 学生のあなた こんなこと学んでます! どんな学びをしておいたら良い?
- 医療・福祉に関わっているあなた こんな課題があることを知ってほしい!
- 企業にお勤め・経営されているあなた こんな取り組みを知って欲しい!

気軽に話しかけてください!

- 持ち時間は 40 分間程度
(説明は 15 分間程度)
- 資料等は簡単なもの
(A4 1枚など)でOKです!
準備が難しい場合はお話しのみ
でもかまいません

福島大学大学院 教職実践研究科 (教職大学院)からのお知らせ

あなたも「福島大学 教職大学院」で学んで
福島の「これからの教育」をともに創っていきませんか?

- ミドル・リーダー養成コース 現職教員のみの
チーム学校を牽引し、学年・学校経営課題への対応力を磨きます。
- 授業デザインコース 現職教員・学部新卒学生
将来的なミドル・リーダーを目指し、基盤となる教育実践力を磨きます。
- 特別支援教育コース 現職教員・学部新卒学生
障害の多様化や個別化に対応できる専門性、高度な教育実践力を磨きます。

詳しくは 福島大 教職大学院 で

ラウンドテーブルご参加にあたってのお願い

- 来場型で ご参加を予定の方へ
 - 各種感染症防止対策にご協力をお願いします。
 - お車で越えの際は、駐車券を受付までお持ちください。
- オンライン型で ご参加を予定の方へ
 - 開催数日前を目途に接続情報をお知らせいたします。
 - トラブルを防止するため、Zoom クライアントアプリを最新版にアップデートしてから接続をお願いします。

諸事情によりやむなく中止する際は、お申し込み時にご登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。確実にご連絡できるものをご登録願います。

【お問い合わせ先】

〒960-1296 福島市金谷川 1 番地

福島大学人間発達文化学類支援室

TEL 024-548-8103 FAX 024-548-3181 Mail ningen@adb.fukushima-u.ac.jp